

第5学年 外国語活動指導案

日 時 平成25年10月 4日(金) 4校時

場 所 5年生教室

指導者 HRT 澤里 満

1 単元名 「Hi, friends! 1」 Lesson6 「What do you want?」

2 単元の目標

- ・積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。
- ・アルファベットの文字とその読み方を一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・身の回りにアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、積極的にアルファベットの大文字を読んだり、“What do you want?” “I want ○○.”の表現を使ったりして、学習指導要領「外国語活動」の内容1(1)「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること」を達成することを目標とし設定した。

身の回りにアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気づき、アルファベットの文字とその読み方を一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことをねらいとしている。本単元の最後には「アルファベット辞典」を作ることを目標とした。自分が必要なアルファベットを集めるには、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現が必要となる。必要感のある活動を設定することにより、積極的にコミュニケーション活動に取り組むと考える。

(2) 児童について

児童は、今年度から新たに始まった外国語活動に楽しんで取り組んでいる。これまでに、世界の様々なあいさつや自分の感情を表す表現などに触れ、外国の文化や言葉に大きな興味を持っている。しかし、活動の様子を見るとゲームへの興味・関心が高いものの、ねらいとするコミュニケーションへの参加に苦手意識がある。自分の思いを英語で話さなければならないという意識が強すぎたり、恥ずかしい気持ちが先行したりするため、友達とのコミュニケーションに大きな抵抗感をもっている児童が少なくない。

そこで、普段の授業では全体のコミュニケーション活動を行う前にはできるだけペアあるいは小集団での活動を取り入れるようにしている。それにより、自信を持っていない児童も「あ～、こうすればいいんだ。」や「よし、やってみよう。」という気持ちを持ち、進んで他者との関わりを持って活動するようになってきた。本単元でも、交流の場をペアや小集団から全体へというように少しずつ広げていき、意欲的に活動できるようにしていきたい。

(3) 指導について

指導にあたっては、身の回りのアルファベットの大文字表記に関心を持ったり、積極的に英語を使って友だちとコミュニケーションを図ったりすることができるように、次のような手立てをとっていく。

初めは、身の回りにあるアルファベットで表記されたものを見つけることにより、外国語に対する興味・関心を高めていきたい。自分の持ち物にも使われていたりするので、児童にとっては見つけやすく自然にアルファベットに触れることができる。そして、『Alphabet Chant』を毎時間歌う

ことで、本単元の新しい表現やアルファベットの大文字の読み方に慣れ親しませる。また、ゲームやクイズを取り入れながらどの子も楽しく文字に慣れ親しむことができるようにする。

単元の後半では、前半の活動を活かして、児童と児童が互いにに関わり、ゲーム性のある活動の中で楽しみながら、自分にできる表現でコミュニケーションを図るようにする。コミュニケーション活動の場面では、身の回りにあるアルファベットを探し、「アルファベット辞典」を作るという目的意識を持たせた活動を設定していく。このような活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていきたい。

4 単元の指導計画（5時間）

（1）取り扱う主な表現や語彙

主な表現	What do you want? The “A”card, please.
主な表現	アルファベットの大文字（A~Z）、twenty one、...、thirty

（2）単元計画

時	目標・活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	<p>◆身の回りには様々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付くとともに、アルファベットの大文字とその読み方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Play 1】 アルファベットの大文字を探そう ・【Let's Play 2】 ポインティングゲーム ・【Let's Chant 1】 “Alphabet Chant” 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにはアルファベットの大文字が使われていることに気付いている。 	行動観察 振り返り カード分析
2	<p>◆アルファベットの大文字とその読み方を一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Chant 1】 “Alphabet Chant” ・【Let's Play 2】 ポインティングゲーム ・【Let's Chant 2】 “What do you want?” ・【Let's Listen】 音声教材を聞いて、アルファベット大文字や数字を線で結ぶ。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大文字とその読み方を一致させている。 	行動観察 振り返り カード点検
3	<p>◆アルファベットの大文字とその読み方を一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Chant 1】 “Alphabet Chant” アルファベットカルタ ・【Let's Play 2】 ポインティングゲーム ・【Let's Chant 2】 “What do you want?” ラッキーカードゲーム 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大きい文字とその読み方とを一致させている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 振り返り カード点検
	<ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Chant 2】 “What do you want?” ラッキーカードゲーム 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 振り返り カード点検
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ◆積極的にアルファベットの大きい文字を読もうとするとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・【Let's Chant 1】 “Alphabet Chant” ・キングゲーム ・【Let's Chant 2】 “What do you want?” ・カード集めゲーム ・【Activity】 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 振り返り カード点検
5	<ul style="list-style-type: none"> ◆積極的にアルファベットの大きい文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしている。 ・【Let's Chant 2】 “What do you want?” ・「アルファベット辞典」を作ろう。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・自らアルファベットの大きい文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 振り返り カード点検

5 本時の活動

(1) ねらい

- ・積極的にアルファベットの大きい文字を読もうとするとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
(慣れ親しみ)

(2) 評価規準

- ・積極的にアルファベットの大きい文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。
(行動観察・振り返りカード点検)

(3) 研究に関わる視点

視点① 「教材とのかかわり」

本時の導入でチャンツを行うときは、映像を見せないで黒板に貼った文字カードをもとに行う。個人でもアルファベット26文字が書かれているカードを持っているので、それを指さしながらのチャンツも行う。音声を聞きながら、その文字を指さすことで更に文字と読み方を一致させるのに有効と考える。パターンを変えながら行うことで、児童の興味・関心を更に高めていきたい。

視点② 「他者とのかかわり」

本時の Main activity では、最初「キングゲーム」を行う。A～Zまでのアルファベットの文字を1人最大3個まで言うことができ、最後にZを言った児童が勝ちとなる。アルファベットの文字に慣れている段階であるが、間違ったり分からなかったりした場合には、お互いに教え合いながら活動できるようにしていきたい。そして、もう一つ「カード集めゲーム」を行う。

「What do you want?」の表現を使って、自分の欲しいものを尋ねたり答えたりする活動である。交流の対象を、前時の隣同士や班などの小グループから全体へと広げる。「What do you want?」「The “○”card, please.」の表現に慣れ親しみ、次時のコミュニケーション活動につなげていきたい。

視点③ 「自分自身とのかかわり」

自分自身の振り返りとして「振り返りカード」を活用する。友達とコミュニケーション活動をして楽しかったことや新しい気付き、友達のよいところ等を書き、お互いに賞賛することにより今後の活動への意欲化を図っていく。友達のよいところなどを書かせることで「認められてうれしい」「自分もがんばろう」という前向きな思いを持たせることができるようにしたい。

(4) 展開

児童の活動	時間	HRTの支援と評価(○)、研究の視点(◇)
<p>〔Warming up〕</p> <p>1 はじめの挨拶をする。 Hello, Sawasato sensei. I'm ○○,thank you. How are you today?</p> <p>2 チャンツ Alphabet Chant をする。 (Hi, friends! 1 p.24)</p> <p>3 今日のためあとと活動内容を確認する。 「ほしいものをたずねたり、答えたりしよう」 キングゲーム 【Let's Chant 2】“What do you want?” カード集めゲーム 【Activity】</p>	10分	<p>○笑顔で気楽な雰囲気をつくり挨拶をする。 Hello, everyone. How are you today? I'm ○○,thank you.</p> <p>◇黒板にアルファベットの文字カードを貼る。映像は隠す。 (教材との関わり)</p> <p>○活動内容を確認し、活動の見通しを持たせ、アルファベットを集めようとする意欲を高めさせる。</p>
<p>〔Main activities〕</p> <p>4 キングゲーム A～Zまでを、1人3つまで言うことができる。最後にZをいった人の勝ち。 (班毎に行う)</p> <p>5 【Let's Chant 2】“What do you want?”</p>	28分	<p>○A～Zの大文字が書かれているカードを班毎に用意し、大文字を指差しながら言うように指示する。</p> <p>◇テンポよく活動させたいが、分からない場合には教えてあげるなど、班の中で助け合う。 (他者とのかかわり)</p> <p>○音声教材でみんな一緒にチャンツを行った後、教師と児童がたずねる側と答える側に別れ、同じようにチャンツを繰り返す。</p>

<p>6 カード集めゲーム</p> <p>①カードを10枚持って、出会った友だちとジャンケンをする。</p> <p>②負けた方から「What do you want?」と尋ねる。相手が欲しいカードがあったら渡す。なければ、Sorry.という。</p> <p>③役割を交代する。勝った方が尋ねる。</p> <p>④あいさつをし、相手を変える。</p> <p>A: Hello. B: Hello.</p> <p>ジャンケンをする。(Aが勝った場合)</p> <p>B: What do you want? A: The "C" card, please.</p> <p>(Bが"C"cardを持っている場合)</p> <p>B: Here you are.</p> <p>(Bが"C"cardを持っていない場合)</p> <p>B: Sorry.</p> <p>AとBの役割を交換する。</p> <p>A: Goodbye. B: Goodbye.</p>		<p>○担任と代表の子どもとで、カード集めゲームの仕方を説明する。</p> <p>○1人に10枚のカードの束を渡す。そして、指令されたカードを集める。時間内に全員とやり取りができたなら、“Nice賞”をあげる。自分以外の15人とやり取りすることができた場合、最大同じカードを8枚集めることができる。</p> <p>◇言い方が分からない場合や忘れた場合には、友達に聞きながら行う。 (他者とのかわり)</p> <p>○欲しいものを尋ねたり答えたりしているか。 (行動観察)</p>
<p>[Looking back]</p> <p>7 本時の学習を振り返る。 振り返りカードに、進んで文字を探したか等を書き、がんばりや新しい気付き等を発表する。</p> <p>8 終わりの挨拶をする。 Thank you Sawasato sensei. See you.</p>	<p>7分</p>	<p>◇会話の楽しさや新しい気付き等を発表させ、よさを認め合う。 (自分自身とのかわり)</p> <p>○終わりのあいさつをする。 That's all for today. Thank you everyone. See you next time.</p>